

交付償還運用報告書

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「UBSブラジル・インデックス・ファンド」は、2022年11月16日をもちまして信託約款の規定に基づき償還させていただきました。

当ファンドは主としてブラジルを代表する企業の株式に実質的に投資を行い、ボベスパ指数（円換算ベース）に概ね連動した投資成果を目指して運用を行います。当期におきましても、当該運用方針に沿った運用を行いました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドをご愛顧いただきましたことに対し、厚く御礼申し上げます。

UBS
ブラジル・インデックス・
ファンド

追加型投信／海外／株式／インデックス型

第15期（償還日2022年11月16日）
作成対象期間（2022年7月12日～2022年11月16日）

第15期末（2022年11月16日）	
償 還 価 額	5,615.63円
純 資 産 総 額	556百万円
騰 落 率*	22.2%
分 配 金 合 計	0円

※騰落率は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号 Otemachi Oneタワー
<お問い合わせ先> 投信営業部 03-5293-3700
(受付時間：営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く)

<http://www.ubs.com/japanfunds>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により提供することが定められております。運用報告書（全体版）は以下の方法でご覧いただけます。

<閲覧方法>

上記の委託会社のホームページアドレス⇒「ファンド検索」にファンド名（日経新聞掲載名でも可）を入力⇒表示されたリストの「ファンド名」欄にある当該ファンドの名称をクリック⇒「運用報告書（全体版）」のタブをクリック

なお、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。書面をご希望される場合には、販売会社までお問い合わせください。

©UBS2023。キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

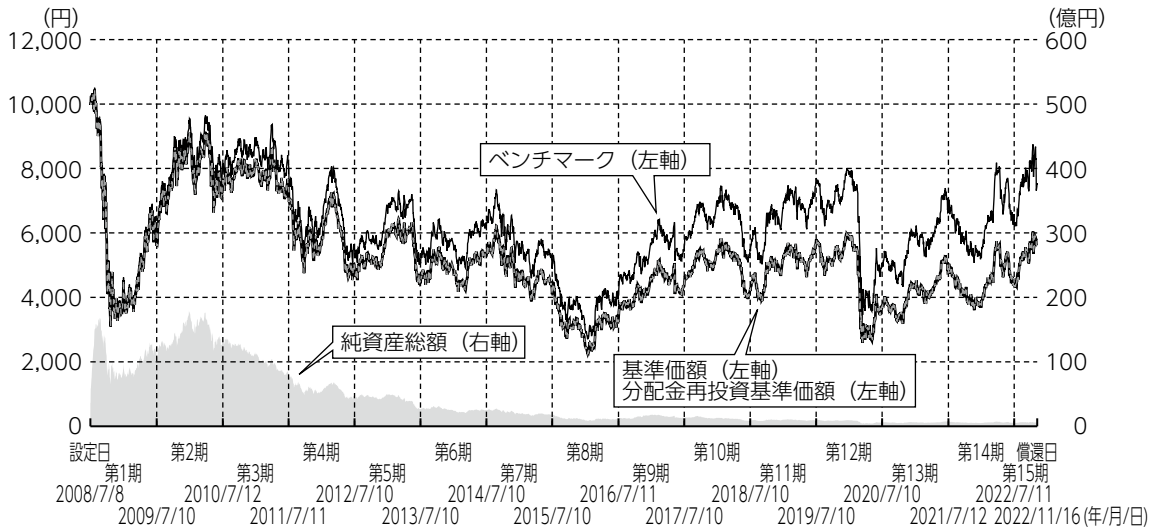
UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

運用経過

基準価額等の推移について

(2008年7月8日～2022年11月16日)



第15期首	:	4,596円
第15期末 (償還日)	:	5,615.63円 (既払分配金 0円)
騰落率	:	22.2% (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、設定日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

当期の基準価額は1,019.63円値上がりしました。なお、基準価額の騰落率は+22.2%となりました。

ベンチマークについて

ベンチマークとは、ファンドの運用を行うに当たり、運用目標の基準あるいはパフォーマンスを評価するための基準です。なお、当ファンドのベンチマークは「ボベスパ指数」を委託会社において円換算した「ボベスパ指数(円換算ベース)」です。

※「ボベスパ指数(IBOVESPA)」とは、サンパウロ証券取引所(以下「ボベスパ」といいます。)が所有する商標であり、当ファンドにおいて当該指数を利用するにあたり、UBSアセット・マネジメント株式会社による利用許諾が与えられています。ボベスパは、当ファンドの発行、後援、推薦、販売、もしくは販売活動を行うものではなく、またその運用につき一切の保証・責任を負うものではありません。また、ボベスパは、ボベスパ指数の運営管理上必要と認めるときは、当該指数の内容を変更する権利を有します。

基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額の上昇要因は、組入れているマザーファンド受益証券の基準価額が値上がりしたことです。マザーファンドの基準価額は、組入株式の株価上昇に加えて、為替変動（レアル高・円安）もプラスに寄与し、前期末比で上昇しました。

1万口当たりの費用明細

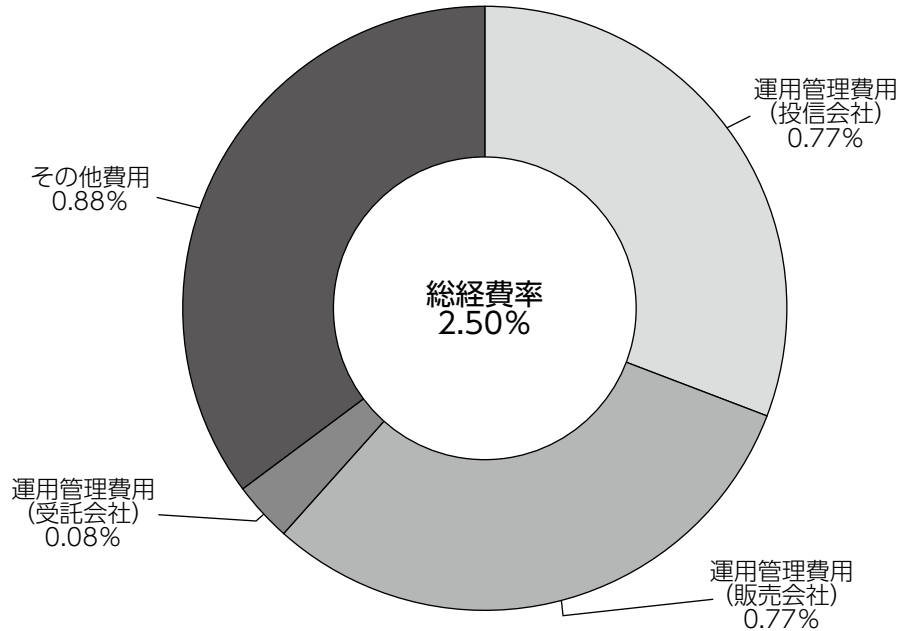
項目	当期 2022/7/12~2022/11/16		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	29円	0.567%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は5,146円です。
（投信会社）	(14)	(0.270)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(14)	(0.270)	運用報告書等各种書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.027)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
売買委託手数料	1	0.015	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株式）	(1)	(0.015)	株式などを取引所で売買する際に売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	0	0.008	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（株式）	(0)	(0.008)	有価証券売買の都度発生する取引に関する税金
その他費用	16	0.308	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(14)	(0.276)	海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用
（監査費用）	(0)	(0.009)	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	(2)	(0.022)	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	(0)	(0.002)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	46	0.898	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報) 総経費率



(注1) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

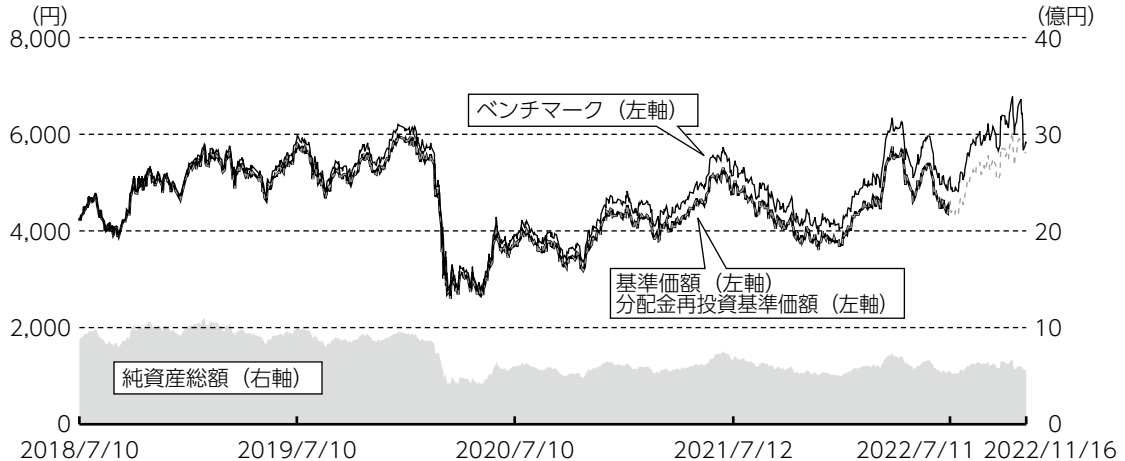
(注2) 各比率は、年率換算した値です。

(注3) 上記の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.50%です。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2018年7月10日～2022年11月16日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2018年7月10日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

(注4) 海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

	2018年7月10日 期初	2019年7月10日 決算日	2020年7月10日 決算日	2021年7月12日 決算日	2022年7月11日 決算日	2022年11月16日 償還日
基準価額 (円)	4,215	5,715	3,724	4,769	4,596	5,615.63
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	35.6	△ 34.8	28.1	△ 3.6	22.2
ベンチマーク騰落率 (%)	—	39.5	△ 33.8	32.2	△ 0.9	13.9
純資産総額 (百万円)	881	988	599	669	554	556

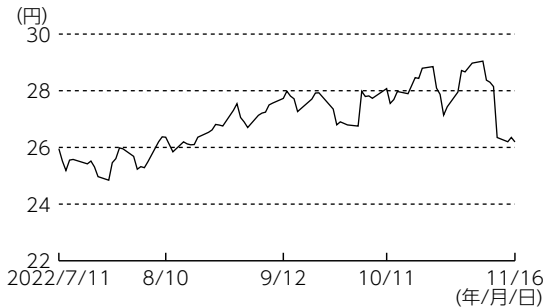
(注) 「分配金再投資基準価額騰落率」、「ベンチマーク騰落率」および「期間分配金合計 (税込み)」は、表中の直前の決算日または期初からの騰落率および分配金合計 (税込み) です。

投資環境について

当期のブラジル株式市場は上昇しました。期の序盤、国内のインフレ率にピークアウトの兆しが見られる中、ブラジル中央銀行（BCB）が8月の金融政策決定会合で利上げ幅を縮小したことなどを好感して、株価は上昇しました。9月以降は、BCBによる利上げ休止が株式市場の追い風となった一方、10月の大統領選の行方と新政権による政策運営への警戒感や、急速な金融引き締め進展による世界経済の後退懸念などが不安要因となり、株価は方向感に乏しい動きが続きました。

ブラジル・リアルは円に対して小幅に上昇しました。世界的に金融引き締めが進む中で日銀は金融緩和政策を維持し、金利差拡大を背景に円への売り圧力が強まったことから、ブラジル・リアルが上昇傾向で推移しました。しかし期の終盤、米国の消費者物価指数（CPI）の下振れをきっかけに米ドルが対円で急反落した影響に加え、ルラ次期大統領の政策運営への不安もブラジル・リアルの売り材料となり、期末にかけて上昇幅を大きく縮小しました。

ブラジルリアル／円レートの推移



ポートフォリオについて

当ファンドのポートフォリオについて

当ファンドは、主要投資対象である「UBSブラジル・インデックス・マザーファンド」受益証券を高位に組入れ、ベンチマークに連動した投資成果を目指して運用を行いました。

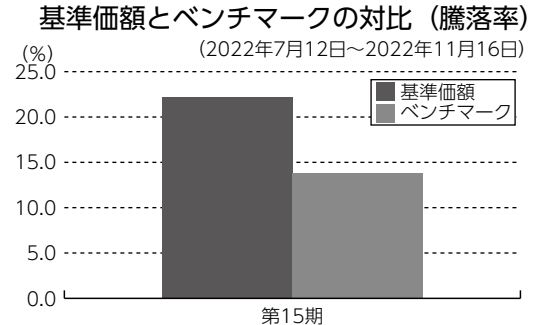
マザーファンドのポートフォリオについて

当ファンドは、ベンチマークであるボブスパ指数を構成する株式中心に投資を行い、当該指数に概ね連動する投資成果を目指して運用を行いました。完全法を目標とする現物株式中心のポートフォリオを構築するとともに、効率的にベンチマークに連動するため、株式先物への投資も一部行いました。当期も、ベンチマークの変更（銘柄入れ替え、比率変更など）、および、資金の流出入に対応して適宜売買を行い、ベンチマークとの連動性を維持するための調整を実施しました。

2022年11月16日でファンドを繰上償還することとなったため、保有銘柄の流動性や売却に伴う株価への影響、および償還に関わる一連の事務手続きに要する日数等も考慮し、同年11月上旬より株式の売却を実施、現金化を完了の上、償還日を迎えました。

ベンチマークとの差異について

当期中の騰落率は、基準価額（分配金再投資ベース）の+22.2%に対してベンチマークが+13.9%となり、基準価額の騰落率はベンチマークの騰落率を8.3%上回りました。基準価額の騰落率がベンチマークの騰落率を上回った主な要因は、マザーファンドにおける償還に向けた保有株式の売却タイミングなどによるものです。



(注) 基準価額の騰落率は分配金再投資ベース

分配金について

償還のため、分配は行いませんでした。なお、第15期（償還期）までに信託財産中に留保されてきた利益につきましては、償還価額に含みお支払いいたしております。

お知らせ

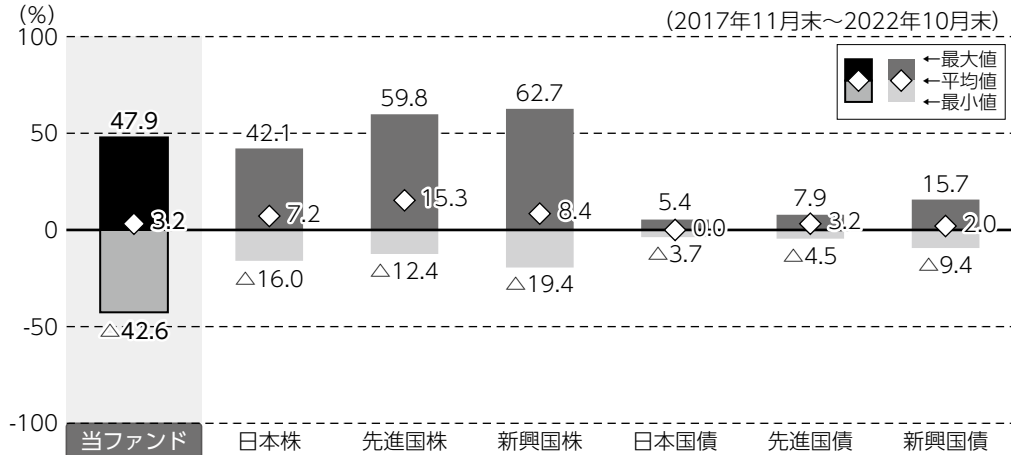
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	2008年7月8日から2022年11月16日まで	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、ブラジルを代表する企業の株式を中心に投資を行い、ボベスパ指数に概ね連動した投資成果を目指して運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド <UBSブラジル・インデックス・ファンド>	UBSブラジル・インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド <UBSブラジル・インデックス・マザーファンド>	ブラジル株式市場の動向を表す代表的株価指数であるボベスパ指数を構成する株式を中心に投資を行います。
運用方法	ベビーファンド <UBSブラジル・インデックス・ファンド>	マザーファンド受益証券の組入れについては高位を維持することを基本とします。 実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
	マザーファンド <UBSブラジル・インデックス・マザーファンド>	投資成果を、ベンチマークであるボベスパ指数（円換算ベース）に概ね連動させるように運用を行います。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 UBSアセット・マネジメント（UK）リミテッドに、運用の指図に関する権限を委託します。
分配方針	毎決算時（原則毎年7月10日、休業日の場合には翌営業日）に、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の中から、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、委託会社の判断で分配を行わない場合があります。分配にあてなかった利益の運用については特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

※資金動向、信託財産の規模および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- *全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- *2017年11月から2022年10月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- *騰落率は直近の月末から最大60ヵ月さかのぼった算出結果であり、当ファンドの決算日に対応したものではありません。
- *騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した騰落率と異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	東証株価指数 (TOPIX) に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCIインデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI国債	NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース)	FTSE世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円換算ベース)	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

各資産クラスの騰落率について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータ提供者は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

(2022年11月16日現在)

組入上位ファンド（銘柄数：－）

償還時における有価証券等の組入れはありません。

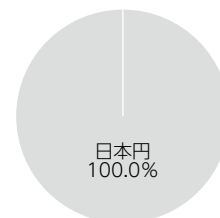
資産別配分



国・地域別配分

償還時における有価証券等の組入れはありません。

通貨別配分



(注1) 「資産別配分」、「通貨別配分」の比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率は当ファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「償還運用報告書（全体版）」をご覧ください。

純資産等

項目	第15期末（償還日） 2022年11月16日
純資産総額	556,204,656円
受益権総口数	990,458,275口
1万口当たり償還価額	5,615.63円

(注) 当期（第15期）中における追加設定元本額は16,005,836円、同解約元本額は233,132,953円です。

組入上位ファンドの概要

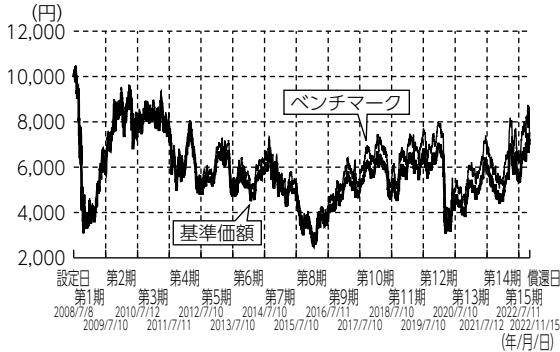
(2022年11月15日現在)

◆UBSブラジル・インデックス・マザーファンド

基準価額の推移 (2008年7月8日～2022年11月15日)

組入上位銘柄 (銘柄数：－)

償還時における有価証券等の組入れはありません。

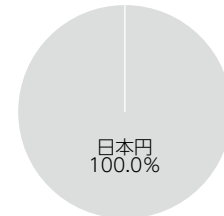


資産別配分

国・地域別配分

通貨別配分

償還時における有価証券等の組入れはありません。



(注1) 「基準価額の推移」はマザーファンドの直近の計算期間、「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「国・地域別配分」、「通貨別配分」はマザーファンドの直近の決算日現在のものです。

(注2) 「組入上位10銘柄」、「資産別配分」、「通貨別配分」の比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合、「国・地域別配分」の比率はマザーファンドのポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 「国・地域別配分」は、発行国・地域または投資国・地域を表示しております。

(注4) ベンチマークは、設定日の値をマザーファンドの基準価額と同一となるように指数化しています。

(注5) 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、「償還運用報告書 (全体版)」をご覧くださいませ。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2022/7/12~2022/11/15	
	金額	比率
売買委託手数料 (株式)	4円 (4)	0.062% (0.062)
有価証券取引税 (株式)	2 (2)	0.036 (0.036)
その他費用 (保管費用)	54 (54)	0.853 (0.852)
(その他)	(0)	(0.001)
合計	60	0.951

※期中の平均基準価額は6,359円です。

(注1) 「1万口当たりの費用明細」は、マザーファンドの直近の計算期間のもので、費用項目の概要については、2ページ「1万口当たりの費用明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

※当マザーファンドの運用経過につきましては、「償還運用報告書（全体版）」をご覧ください。